

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 114

事業名	ASAトライアングル交流圏協議会負担金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	市長公室			款	総務費・2款
電話	0799 - 43 - 5002			項	総務管理費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	まちづくり推進費・6目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱		職 食 づくり 夢あふれ 働く場を生み出すまちづくり		
	まちづくりの目標		行って楽しい交流・感動の舞台【観光・交流】		
	施策目標		市民自ら地域の魅力を知り、あらゆる方面からみんなで発信し、南あわじファンを増やす		

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)			
		ASAトライアングル交流圏推進協議会(鳴門市、東かがわ市、南あわじ市の市民)			構成団体(市)
		3			
	実施内容	活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)			
		鳴門市、東かがわ市、南あわじ市の3地域が県境を越えて交流を深めることにより、良好な地域環境を確立し、地域全体の発展に寄与する。			
	団体の概要	(主な事業、活動内容等)			
		お互いの市で開催される事業(まつり)等で各市の特産品等のPRを行う。鳴門渦まつり、引田ひなまつり、淡路だんじり祭への参加。			
(どのような団体か、活動目的、活動内容など)					
補助金算出根拠	鳴門市・東かがわ市・南あわじ市の3地域が県境を越えて交流を深めることにより、良好な地域環境を確立し、地域全体の発展に寄与する。				
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体	<input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 ()	
				<input type="checkbox"/> 旧町単位 ()	
				<input type="checkbox"/> 旧村単位 ()	
補助金算出根拠	<ul style="list-style-type: none"> ASA地域内イベントへの参画出展経費(主に費用弁償ほか) ASA観光パンフレット作成(24,000部×@15) ASA地域内連携強化を図る方策についての講演会実施に伴う講師費用 神戸淡路鳴門自動車道通行料低減化にむけての連携・協力 				
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	
				年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧西淡町において、平成2年度より鳴門市、引田町と設立し、合併後も継続している。				

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インプット	直接事務費 (千円)	100	100	100	100
	ASAトライアングル交流圏協議会負担金	100	100	100	100
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	100	100	100	100
	人件費(正規職員)[B] (千円)	154	150	120	120
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)	5	5	4	4
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1
	年間経費([A]+[B])	254	250	220	220
	「構成人数」一人当り経費 (千円)	84.5	83.2	73.5	73.5
受益者人数(153,900) 1人当り経費(千円)	0.0	0.0	0.0	0.0	
経費に関する 補足説明					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 公共性が高く、市の特産品をPRする場には最適である。	自己評価 (5点評価)
		4
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 市の特産品をPRするには最適である。	自己評価 (5点評価)
		4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 今後は3市の交流を続けながら物産品等のPRについては、観光協会などの民間の自主的な活動・協力が必要と考える。	
	<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果 必要性</p> </div>	

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>今後は3市の交流を続けながら物産品等のPRについては観光課・観光協会にも協力を呼びかけ、市全体のPRを考える。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)	市職員だけでなく、観光協会会員へも参加を呼び掛ける。	同左
改善によって期待される効果	住民参加による盛り上がりにより、より発展的な効果が得られる。 経費増となる部分は観光協会等の活動費用による。	同左
(現状維持の場合も記入)	仮に 補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 事業が廃止された場合の影響は、直ぐには表面化しないと思われる。 ただし、3市の協調性がなくなることは、隣接する市としてのマイナス面は必ず出てくると考えられる。	